

セーフコミュニティ かめおか

— けがや事故を予防しよう —

Vol.19 (平成 28 年 3 月号)



セーフコミュニティとは…

セーフコミュニティ（SC）とは、WHO（世界保健機関）が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、予防に重点を置き、地域社会全体が協働で進める安全安心なまちづくりの取り組みです。

TOPICS

1. セーフコミュニティの再々認証に向けて
2. マクドナルドやコンビニでSCニュース設置開始
3. セーフスクール特集
4. 特集① 「篠町S・MAP（洪水・土砂災害編）」を作成
5. 特集② 防犯対策委員会を紹介しす

◇問い合わせ先◇

亀岡市総務部安全安心まちづくり課
電話：0771-25-5097
FAX：0771-24-5501
E-mail:1sc2008@city.kameoka.kyoto.jp

セーフコミュニティの再々認証に向けて ～桂川市長（会長）からの宣言～

2月26日、亀岡市役所市民ホールで、今年度第3回目の「亀岡市セーフコミュニティ推進協議会」を開催しました。



〔白石代表理事からの講演〕

会議冒頭では、日本セーフコミュニティ推進機構の白石代表理事より、セーフコミュニティ再々認証に向けて、今後見直していく点などを説明いただき、セーフコミュニティの活用方法について、改めて確認しました。

その話を受け、桂川市長（会長）は、「平成30年の再々認証を目指す」と宣言し、委員の皆さんへ今後も御協力いただけるよう依頼しました。



〔桂川市長のあいさつ〕

マクドナルドやコンビニでSCニュース設置開始 ～企業連携が進んでいます～

「セーフコミュニティニュース」の設置場所について、平成28年1月号から、マクドナルド2店舗（9号線亀岡店、千代川店）及び市内コンビニエンスストア26店舗に拡大しました。

マクドナルド2店舗では、防犯ボランティア活動の打ち合わせで利用する場合、飲食代を割り引くなど防犯活動の支援も行っています。

今後も企業と連携し、様々な活動の展開を図っていきます。〔マクドナルド 千代川店〕



マクドナルドさんからご提供いただきました。
広報紙持参でマックフライポテト⑤1コを無料で楽しみいただけます。
（9号線亀岡店、9号線千代川店、イオン亀岡店）



特別ご招待券
マックフライポテト⑤1コ

特集① SCモデル地区「篠町自治会」の取り組み ～「篠町S・MAP（洪水・土砂災害編）」を作成～



〔フィールドワーク〕

見直しには、篠町自治会だけでなく、北海学園大学や立命館大学の協力も得て行われました。まず最初に、グループに分かれて、フィールドワーク（篠区、山本区、馬堀区、柏原区、川西区）を行い、町内の危険箇所をチェックしました。その後、結果をマップに書き込むワークショップを実施しました。

このマップは篠町自治会のホームページにも掲載し、区の防災・避難活動に活用していく予定です。

1月23日、篠町自治会で「篠町S・MAP（洪水・土砂災害編）」の作成が始まりました。

S・MAPとは、2009年にセーフコミュニティ活動の一環として作成された「篠町地域安全・魅力マップ」のことです。

今回このS・MAPについて、2013年台風18号により町内で発生した洪水・土砂災害の視点から見直しをすることとなりました。



〔ワークショップ〕

特集② セーフコミュニティかめおか 対策委員会とは ～防犯対策委員会を紹介しす～

亀岡市では、①街頭犯罪認知件数が2010年、増加に転じる②特に、自転車盗が急増という2つの背景から「セーフコミュニティかめおか 防犯対策委員会」を設置しました。

委員は、亀岡防犯推進員連絡協議会や亀岡警察署、亀岡市青少年育成地域活動協議会、府民協働防犯ステーション会議などに所属する9人で構成されています。

〔委員会の様子〕→



市内の街頭犯罪の減少に向けて、特に防犯カメラの設置や、ドライブレコーダーの活用方法の検討などの取り組みを行っています。今年度は防犯カメラを南つつじヶ丘と並河駅前に1台ずつ増設しました。街頭犯罪は、対策委員会設置（平成23年度）時より**41.8%減少**しています。来年度は、ドライブレコーダーを設置する車を所有する事業所との協定や、コンビニと連携した防犯対策を予定しています。

防犯対策委員会 十倉 康吉 委員長

（亀岡防犯推進員連絡協議会長）よりコメント



日頃、何気ない軽い気持ちで安易な行動を繰り返すうち、自分自身がケガをしたり、大きな社会不安を起こす可能性があります。委員会では、『犯罪の起きない安全安心なまちづくり』を目指して、行政や各種団体所属の委員の皆様とともに、特にゲートウェイ犯罪と言われている自転車盗の抑止活動に取り組んでいます。事件発生の抑止力は、大勢の市民の皆様の「見守り力」です。今後とも御協力よろしくお願いします。

インターナショナルセーフスクール



セーフスクールとは…

体と心のケガやその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全な学校や保育所づくりを進める活動がインターナショナル・セーフスクール（ISS）です。

TOPICS

1. 本梅保育所の「環境改善」
2. セーフスクールサミット in 豊島
3. 東部保育所の「保育室エリア分け作戦」
4. 川東保育所の「お母さんまもるんじゃー」
5. 特集 亀岡あゆみ保育園 井内園長インタビュー

本梅保育所の「環境改善」～自治会の力で市道改修～

<改修前>



改修前は、むき出しの路肩が危険でしたが…

<改修後>



側溝もきれいになり、柵がつけられました。

〔本梅保育所入口付近〕



〔中村自治会長と一緒にテープカット〕

本梅保育所での ISS 認証審査の際、審査員から入口付近の側溝が危険であるという指摘に基づき、審査に参加していた本梅町自治会が道路環境の改善活動に取り組みました。

結果、側溝には柵ができ、道幅も広くなったため、安全に通行できるようになりました。

本梅町自治会 中村会長のコメント

ISS 認証審査員から、環境面、とりわけ危険防止に係る指摘を受け、関係機関に相談したところ、早期の改善が図られました。

ISS 認証に伴い、園児を中心に保育所職員・保護者の皆様が連携しながら、安全向上に取り組まれる姿は、地元地域にとって頼もしく、協働していかなければならないと思っています。

セーフスクールサミット in 豊島

～曽我部小学校が発表しました～

2月4日、東京都豊島区で全国の ISS に取り組む学校（保育所）が集まり、ISS サミットが開催されました。



〔曽我部小学校の発表〕

各学校の取り組みが発表される中で、亀岡市からは曽我部小学校の俣野校長が発表を行いました。「安全は子どもの基盤」であり、安全が確保されると学力向上の効果もあるとの発表内容について、参加していた ISS 審査員から高い評価を受けました。

最後に、セーフスクールネットワーク相互の開かれた連携をすすめていくという「セーフスクールサミット共同宣言」が承認されました。



〔豊島区役所議場〕

東部保育所の「保育室エリア分け作戦」

～子どもの動線を工夫しよう～

東部保育所では、保育室内での衝突のケガが多いことに対して、子どもたちの動線を工夫する環境整備を行っています。



〔東部保育所 2歳児の保育室〕

今までは、広い空間を確保することが大切と考えてきましたが、敢えてロッカーやパーテーションで仕切りを作ることにより、走り回ったりする行動が減少し、落ち着いて生活することができるようになりました。

今後もおもちゃを使う場所の固定化などの工夫を検討していきます。



〔東部保育所 保育室〕

川東保育所の「お母さんまもるんじゃー」

～親子一緒に安全確認～



〔川東保育所 保護者参観〕

3月3日、川東保育所で開催された保護者参観において、子どもたちが毎日実施している「まもるんじゃー」の活動を発表しました。

保護者も「まもるんじゃー」に変身し、「駐車場ではお家の人と手をつなぎましょう」という約束を伝えました。

特集 亀岡あゆみ保育園 井内園長にインタビュー

～ISSの取り組みを通じて変わったこと～

①ISS 認証を取得した後、どんな変化がありましたか？

井内園長：ISS の取り組みで外傷のデータを取るなどの活動を進める中で、ISS の理解が進み、成果が目に見えるようになり、職員が根拠に基づいた説明ができるようになりました。それにより保護者からの信頼感が増ただけでなく、職員の自信にもつながっています。さらに子どもは元気に遊ぶことを大切に、園内を走り回っていますが、外傷は 17～19% 減少するという結果にも表れています。

②ISS を推進しての効果は？

井内園長：職員が PDCA のアプローチに組むことで、仕事全般のやり方が変わってきており、様々なことに自主的に取り組むことも増えてきました。

③3年後の再認証に向けて、どんな展開を考えていますか？

井内園長：ISS のシステムを活用し、全員参加型のチームワークと、京都府が推進する「きょうと福祉人材育成認証制度」による職員の人材育成を進めていきたいと考えています。

また ISS を通じて公立保育所との交流が生まれたため、今後も連携し、家庭内の事故予防にも取り組んでいきたいと思っています。



〔亀岡あゆみ保育園〕